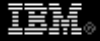


[ホーム](#) | [製品](#) | [サービス & ソリューション](#) | [サポート & ダウンロード](#) | [マイアカウント](#)

DB2 Developer Domain > 製品別技術情報 > DB2いろはがるた >

DB2いろはがるた

DB2いろはがるた



第29回

「や」 - やっぱり便利、ウェアハウス・マネージャー



執筆者

春野 さくら

「DB2いろはがるた」を執筆するために参上した、なぞの女性。日本の古典文学を愛する。

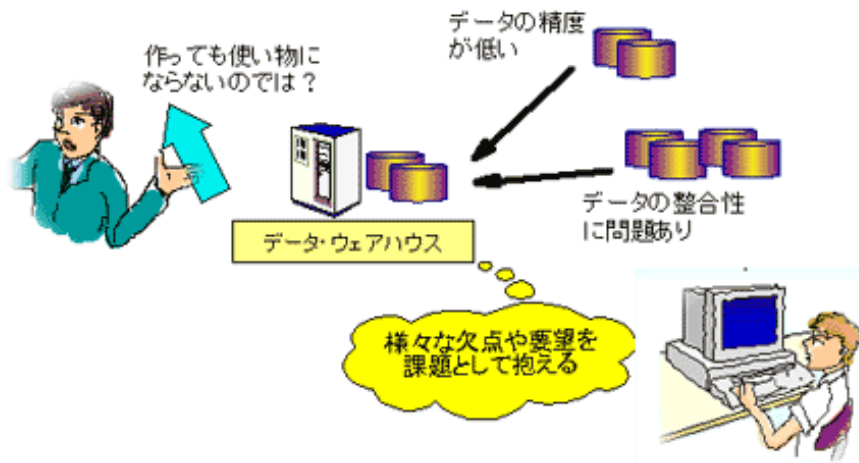
今や紅葉もまっさかりの季節です。日光のいろは坂も今ごろはすばらしいことでしょう。赤、黄色、緑の錦織りというところでしょうか。紅葉が終わると、いよいよ寒い冬がやってくるのですね。鍋がおいしい季節になります。

今回はデータ・ウェアハウスのお話です。「お」でお話したOLAPサーバー等を使って、多次元分析などデータを活用するためには、まず分析対象となるデータを準備しておかなければなりません。当然ですね。企業内にちらばっている様々なデータをまとめて、一つの包括的なデータを構築することをデータ・ウェアハウジング、構築されたデータをデータ・ウェアハウスと呼びます。つまりデータの倉庫という意味です。しかし、そのような既存のデータウェアハウスにもいろいろな課題があります。例えば、エンド・ユーザーから見ると、次のような問題がよくあります。

どんなデータやレポートがあるのかわからない
データはどういう意味を持っているのか？
変なデータは誰に問い合わせるのか？
データが使いやすい形になっていない。

IT部門から見ると

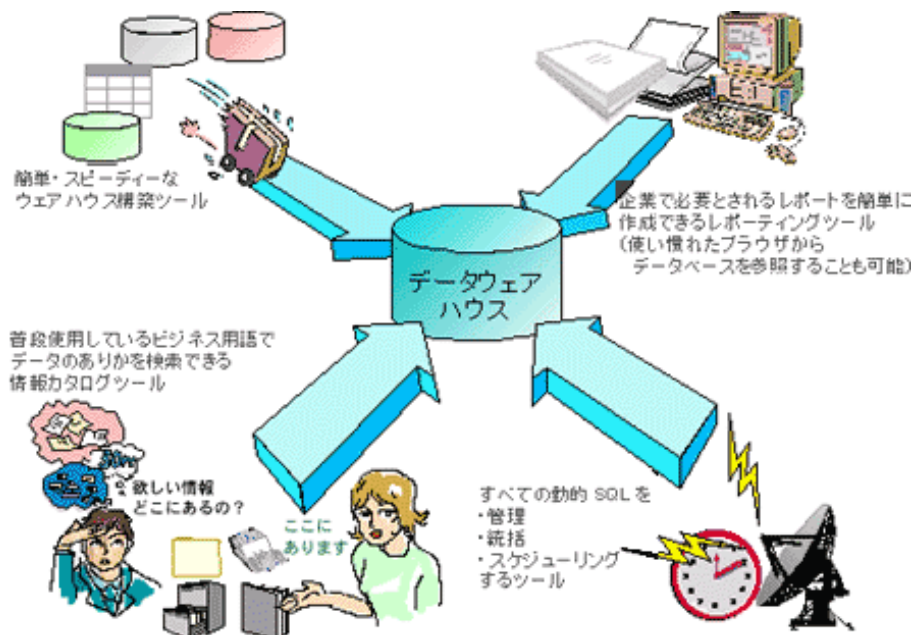
ウェアハウス構築にはお金と資源がかかる
データの詳細までは面倒見切れない
エンド・ユーザーの要望に早期に答えたいが、そのための柔軟な仕組みが欲しい
元の入力データの品質が悪い
WEBでも使えるレポート機能が欲しい



そこで、作ったのはいいが、結果として使い物にならない、データを信頼できない、データの整合性に問題があるという場合があります。そんなことになったら、本当にかっかりです。そういう場合に、データ・マートを短期間で、効率的に構築、運用するためにトータルなウェアハウス・ツールが必要になります。つまり次のような機能が必須です。

データ・ソースから必要なデータを抽出し、加工を行って、データ・ターゲットに書き込む機能を持ち、運用上ではスケジューリング機能も必要
 情報を有効に活用するための、データの所在を示す索引/カタログを支援するツール
 数々のSQLジョブをスケジューリングしてシステム運用に有効なツール
 利用者の欲しい形でデータを検索して、レポートを作成するツール

読者の皆さんはここまで読んでこられて、私が何を話そうとしているか、もうピンときたでしょう？ 実はこれらのツールを一つのパッケージで提供しているのが、なにがある、DB2 ウェアハウス・マネージャーなのです。



DB2 UDB V7では従来別製品であったVisual Warehouseを機能強化して、本体に取り入れました。新しいGUIはJava ベースで書き直されており、データ・ウェアハウス・センターとしてDB2 UDB V7の中にも含まれていて、DB2 UDBのコントロール・センターからデータ・ウェアハウス・センターを呼び出して実行することができます。ただし、ウェアハウス・マネージャーは有料のオ

ブジョン・フィーチャーで、これはクエリー パトローラーのような先進的な機能を提供しています。ウェアハウス・センターのサーバーはWindowsNTまたは2000上で稼動します。

ウェアハウス・センターでは次のような機能を提供しています。

ウェアハウス構築・管理ツール

データや処理の流れを定義するためのエディターがあり、操作が簡単で、変更も簡単に行えます。DB2ファミリーはもちろん、OracleやSybaseなどの他社RDBやフラット・ファイル、IMS、VSAMなどもソースとして取り込めます。よく使われるSQL処理や統計関数が提供されており、そのまま定義するだけで、開発する必要がありません。スター・スキーマの作成機能ももっており、OLAPキューブにロードする機能も備えています。それらの操作をスケジュールしておき、自動運用することも可能です。

情報カタログ管理ツール

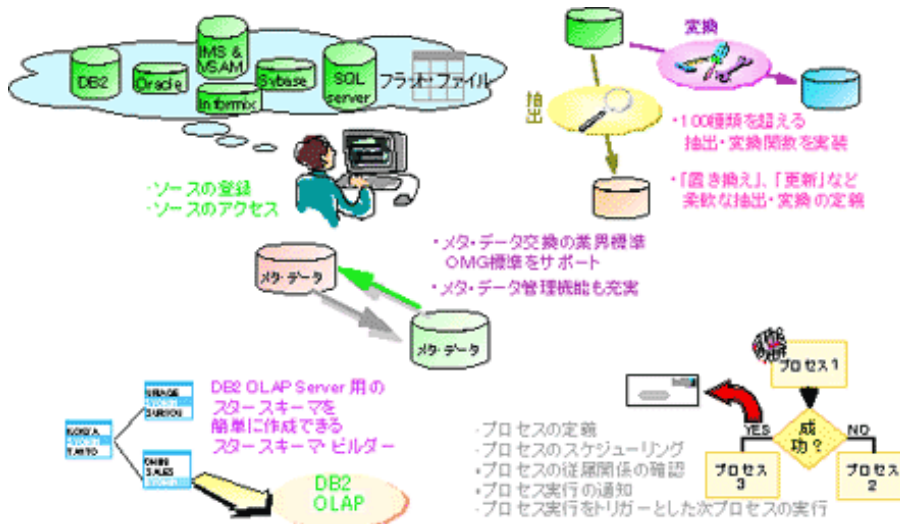
情報カタログ管理により、データの取得、理解、アクセスが容易です。標準に準拠することによって、モデル作成ツールや検索用フロント・エンド・ツールなどとの間でメタデータを交換することができます。これにより他のツールとの連携が容易になります。WEBブラウザからも参照できます。

クエリー・ジョブのスケジューリング・ツール

ユーザー毎/グループごとにリソースの制限値を設定して、クエリーを制御し懸念されるリソースを保護することができます。利用者が即時または非即時に実行が可能です。課金の目的などで使用状況をトラッキングすることができます。

検索・レポート作成ツール

DB2 プラットフォームにネイティブに接続するのでパフォーマンスに優れています。汎用的に使われているスプレッドシートからも利用で、Webブラウザからのアクセスもサポートします。



データウェアハウスは毎日毎日、最新のデータに更新されていかなければすぐに意味がなくなってしまいます。生のデータはすぐに腐ってしまいます。新鮮な魚は、すぐにお刺身にして食べてしまうにかぎります。

↑ 上に戻る